

平成 29 年度 めぐみ保育園事業報告書

事業総括

平成29年度は社会福祉法人制度改革の施行に伴い、重点目標に『法人体制の整備』を掲げ、評議員会を設置する等、ガバナンスの強化に取り組んできました。

6月におこなわれた『第一回評議委員会』は児童福祉関係者や他の保育所職員からなる評議員から指摘や参考となる意見が多数出され、当法人・施設にとってとても有意義な会議となりました。

今後評議員の増員が必須となりますのでより良い体制となるよう更なる強化に取り組んでいきます。

会計面においては当初計画に従い小・中規模の補修工事も行いうことができ、全体的にも予算内での活動となりました。園舎や園内の構築物も古くなってきており、今後も長期的な改修、買換えを計画・実行しながらも、緊急性があるものについては早急な対応を行っていききたいと思います。

年度内での購入を予定していた大型物品（ホームページ、玄関雨除け工事 他）が間に合わなかった為、H29年度はやや予算余りとなりました。計画段階での準備不足から着手が遅れてしまったことが要因となるものもありましたので、今後の課題としていききたいと思います。

運営面においては、H29年度よりキャリアアップ研修制度が導入されたことに伴い、職員を研修に積極的に参加させ資格の取得と資質の向上を目指す事を掲げていました。

制度開始の混乱もあり『研修枠が取れない』また『職員配置上研修に出せない』等が発生し、残念ながら研修参加数は例年より若干増加するに留まりました。ベテラン・中堅職員を対象とした給与改善（処遇改善Ⅱ）に研修参加の要件が課されるのはH32年以降になりますが、今年度も引き続き重点目標に掲げ園内での研修を含め職員の資質の向上に努めていきます。

その他H29年度の重点目標として掲げた2つの事案【アレルギー対策の徹底】、【未満児（特に0,1歳児）の保育強化】については、マニュアルの見直しを行い、職員会や園内研修を通して全職員への周知を徹底しました。また給食室との連携も再確認し強化したことで当初目標を達成することができたと感じています。

以上児クラスの行事では、地震等の影響により大幅な変更を余儀なくされたものもありましたが、クラス担任をはじめとする全職員が臨機応変に対応し、例年通り園児にとって楽しい活動を行う事ができました。

保育士不足が社会的問題となる中、1年を通して必要な保育士数を確保できたことでベテランから新人までバランス良く職員配置が行え、また職員間の連携がうまく機能したことで、大きな事故や苦情もなく、計画通りの保育活動を行うことができました。

I 保育所の運営

ア) 利用者状況

(人)

クラス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
4歳児	18	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16
3歳児	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14
2歳児	11	11	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13
1歳児	16	16	17	17	17	17	17	16	17	17	17	17
0歳児	4	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	76	79	83	83	83	83	83	84	85	84	84	84

イ) 職員体制 (計27名)

施設長	1名	保育士	11名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	5名	調理員	2名
副主任保育士	1名	事務員	1名	補助職員	4名

ウ) 理事・監事体制

理事長	1名	理事	5名	監事	2名	評議員	4名
-----	----	----	----	----	----	-----	----

エ) 理事会

開催日時	出席者数	内容
5月30日	9名	会計報告、評議員会設置について等
6月17日	9名	理事長選出、評議員会報告
12月14日	9名	会計報告、指導監査報告等
3月17日	9名	会計報告、平成30年度事業計画、

オ) 評議員会

開催日時	出席者数	内容
6月16日	5名	会計報告、理事役員選出

※上記以外に『評議員選任解任委員会』を開催 (3月14日 4名出席)

II 保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身ともに健康的な生活を送れるよう取組んだ。
- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- 定期的に異年齢保育を取り入れる事で、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。
- 年度初め通常保育で行った『空想の世界の生き物を見つけよう！』をきっかけに、その後も様々なイベント・行事に『こびと』を題材にした活動を盛り込んだ。空想の世界を話し合い、想像しながら1つのテーマを1年かけて展開していった。保護者参加の行事にも取り入れたことで「会話が広がった」との反響があった。

主な園内・園外行事

実施日	内容	場所	参加者数
5月13日	親子遠足	めぐみ保育園	園児 65 職員 15
7月8日	夏祭り	めぐみ保育園	園児 58 職員 20 卒園児・家族
7月14日	お泊り保育	めぐみ保育園	園児 15 職員 3
8月6日	地域夏祭り	宇宿公園	園児 15 職員 3
9月2日	祖父母交流会	めぐみ保育園	園児 40 職員 6 祖父母 23
9月18日	敬老の日	宇宿福祉館	園児 10 職員 3 家族多数
10月10日	運動会	脇田中央公園	園児 74 職員 20 家族多数
10月17日	園外保育 (4.5歳児)	水族館・空港	園児 30 職員 4
10月24日	園外保育 (2.3歳児)	平川動物園	園児 27 職員 6
11月11日	秋祭り	宇宿福祉館	園児 14 職員 3
12月9日	発表会	めぐみ保育園	園児 84 職員 18 家族多数
12月15日	もちつき	めぐみ保育園	園児 45 職員 10 祖父母 10
12月22日	クリスマス会	めぐみ保育園	園児 84 職員 13
2月2日	節分	めぐみ保育園	園児 84 職員 10
3月2日	ひな祭り	めぐみ保育園	園児 84 職員 11
3月10日	卒園式	めぐみ保育園	園児 15 職員 15 家族多数
3月14日	卒園児遠足	恐竜公園	園児 15 職員 3
3月20日	お別れ会	めぐみ保育園	園児 84 職員 10

※その他 クラス懇談会（保護者）、誕生日会（6回/年）、個人面談、保育参観等

※7月に計画していたお泊り保育は、地震の為、夕涼み会に変更しました

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施（5月15日 10月24日）
- ・歯科検診 年1回実施（5月17日）
- ・蟻虫卵検査 年1回実施（4月7日）

イ) 食育 (給食)

- 季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- 畑で季節の野菜を育てることで、育てることの大変さ・収穫する喜び等を体験することができた。
- 保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
 - ・月例給食会議 毎月1回

ウ) 安全対策

- ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- 食中毒対策として専門業者による調理室の衛生検査を月1回実施し衛生管理に努めた。
- 災害事に備え年13回避難訓練を行った。

避難訓練等実施状況

実施日	内容	消防立会	実施日	内容	消防立会
4月25日	出火	無	10月30日	出火	有
5月15日	出火	有	11月24日	出火	無
6月30日	地震・出火	無	12月25日	出火	無
7月25日	出火	無	1月26日	出火	無
8月18日	出火	無	2月21日	地震からの出火	無
8月23日	出火	無	3月27日	地震からの出火	無
9月25日	地震・出火	無			

※6月30日…小学校と連携し災害避難経路の順路で宇宿小学校に避難する

※7月25日…災害避難経路の順路で脇田中央公園に避難する

Ⅲ 職員

ア 衛生感染対策

- ・定期健康診断 (5月)
- ・検便 給食・乳児担当職員 毎月1回
その他の職員 年 2回

イ 会議

月例会議 (12回) 臨時職員会 (3回) 反省会 (5回)

- 子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、クラス毎の様子や各家庭の状況を話し合い、情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題をとりまとめた。
- 平成30年4月より改正された保育指針に従い、新たな『全体的な計画』を作成した。

ウ 施設内・施設外研修

- 職員の資質向上を目指し各研修・セミナーに参加した。
- 園内で講師を招いての研修及び研究保育を行った。

県内研修状況

開催日	研修会名	参加者数
5月27日	総会・全体研修(数名)	4名
6月15日	保護者支援研修会	1名
7月8日	保健衛生・安全対策研修会	1名
8月2～3日	県外視察研修会	1名
8月26日	食育研修	1名
9月8日	発達・障害児保育研修会	1名
9月20日	乳児保育研修会	1名
10月11日	保育実践研究会	1名
11月24日	子育て支援事業特別講演	園児30名 職員3名
2月17日	実践論文発表会研修会	1名

施設内研修状況

実施日	研修内容	講師	参加者数
5月30日	病気・けがなどの対応や予防方法を学ぶ	なし	10名
7月21日	気になる子への援助指導	谷川知士先生	13名
10月19日	研修報告会	なし	15名
11月1日	保育所保育指針改定のポイントについて	丸田愛子先生	10名
1月30日	研修報告会	なし	15名
2月2日	全体的な計画作成(様式作成・各年齢見直し)	なし	15名
2月11日	全体的な計画作成(各年齢発表)	なし	15名
2月16日	人権・幼児の思いと保育者の関わりについて	丸田愛子先生	10名
3月22日	全体的な計画作成(五領域の見直し)	なし	15名
3月27日	全体的な計画作成(五領域の見直し)	なし	15名

IV 家庭との関わり

- 園便りやクラス便りを発行し、保護者に園内での活動を伝えた。
- 未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。
- 以上児は4月に個人面談を行い保護者との連携を深めた。
- 不安を抱える保護者に対して積極的に声がけし、個別に相談の場を設けた。

ア 保育参観

年4回、保護者参観を設け（5月・7月・1月・2月）園内での子どもの様子を見てもらいながら、伸ばしていきたいところや目標を保護者の方々と職員が共有できるよう情報交換を行った

1月の以上児保育参観は、インフルエンザの流行により一時中止としたが、就学前である年長児だけは、時期をずらしあらためて開催した。

イ 苦情・要望

保護者からの苦情・要望に対し迅速に説明又は改善をおこない、全案件について理解を得た。また第三者委員会に報告し対応の承認を得た。 *平成29年度苦情・要望状況（別掲載）

V 地域とのかかわり

ア) 子育て支援

○地域の未就園児及び保護者への支援として、保育園を開放し交流を実施した。

○夏祭り等で小学生と交流する中で、年長児は進学への期待を抱き、小学生になる喜びを持つことができた。

実施状況

実施日	テーマ・内容	参加者	実施日	テーマ・内容	参加者
5月10日	めぐみプチシアター	25名	9月6日	祖父母プレゼント製作	17名
6月7日	入園体験（各クラス）	38名	11月1日	公園に散歩に行こう	2名
7月8日	夏祭り	50名	12月22日	クリスマス会	15名

イ) 地域行事への参加

○地域で開催される様々な行事に園児を参加させた。

実施日	テーマ・内容	参加者	実施日	テーマ・内容	参加者
8月	宇宿夏祭り	5歳児	9月	宇宿敬老会	2歳児
8月	七夕防火まつり	4.5歳児	11月	宇宿秋祭り	4歳児

※その他地域中学校から職場体験者2名を受け入れた。